

# 委託事業実施内容報告書

## 平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

受託団体名 特定非営利活動法人 市民社会研究所

#### 1 事業の趣旨・目的

四日市に居住する外国人は総人口の約3%を占め、全国的に見ても外国人が多い都市となっている。外国人の増加に伴い、ごみ出しや騒音といった生活上の課題、学校教育におけるさまざまな課題が生じており、さらに昨年来の不況により、新たな職を求めるための外国人の日本語学習ニーズが高まるなどの新たな状況が発生している。これらの問題を解決するため、多文化共生の理念を身につけ、地域における外国人の生活に必要な日本語指導ができる日本語ボランティアの育成を図ることを目指し、以下の特色をもった日本語ボランティア養成プログラムを提供する。

- ①日本語ボランティアの継続的な育成を目指した、体系的かつ汎用性の高い学習プログラム
- ②外国人のニーズ調査と外国人との学習を踏まえた、実践的な日本語指導機会の提供

#### 2 外国人の日本語ニーズ調査及びそれに基づく事前検討会議の開催について

##### (1)外国人の日本語ニーズ調査

講座実施に先立ち、6月中旬の3日間、四日市市内の日本語教室や外国人等を訪問し、外国人の日本語ニーズの調査を行った。

##### (2)事前検討会議の開催

###### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月6日(土) 10:00~12:00	四日市市 なやプラザ	検討会議 委員5名	・外国人の日本語ニーズの 調査方法検討	外国人の日本語ニーズ調査の実 施日、訪問場所等を決定
6月25日(金) 10:00~12:00	四日市市 なやプラザ	検討会議 委員5名	・外国人の日本語ニーズの まとめ	外国人の日本語ニーズ調査の実 施内容を整理し課題を抽出

#### 3 企画委員会の開催について

###### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月27日(土) 13:00~15:00	四日市市 なやプラザ	企画委員 11名	・講座の体系、内容企画 ・受講対象者と広報	事前検討会議を踏まえ、対象者や 内容の方向性を検討・決定
9月6日(日) 17:00~19:00	四日市市 なやプラザ	企画委員 11名	・参加者と実施内容の確認 ・役割分担について	講座の状況報告と、役割分担の確認 を行った
2月14日(日) 17:00~18:00	四日市市 なやプラザ	企画委員 11名	・講座のふりかえり ・今後の日本語ボランティ ア養成講座のあり方	参加者のアンケートに基づく全 講座のふりかえりを中心に、今後 の方向性について検討を行った。

### 【企画委員会風景】



## 4 研修講座の内容について

### (1) 研修講座名

実践的日本語ボランティア養成講座

### (2) 研修の目標

- ① 四日市市の国際化の状況と多文化共生の理念の理解
- ② 日本語ボランティアとしての体系的な知識の修得
- ③ 外国人のニーズを踏まえた実践的な日本語指導力の向上

### (3) 受講者の総数 26 人

### (4) 開催時間数(回数) 44 時間 ( 6 回)

### (5) 参加対象者の要件

原則として2年以上日本語ボランティアの体験がある者

### (6) 受講者の募集方法

#### ① 募集用チラシ

- ・ 四日市市国際交流センター
- ・ 三重県国際交流センター
- ・ 四日市市なやプラザ
- ・ 四日市市立図書館
- ・ 四日市市内各地区市民センター（チラシを持参し参加依頼を行う）等

#### ② 募集用ポスター

- ・ 四日市市国際交流センター
- ・ 三重県国際交流センター
- ・ 四日市市なやプラザ
- ・ 四日市市立図書館
- ・ 四日市市内各地区市民センター等

#### ③ 当団体ホームページ（募集のチラシ等があれば添付）

### (7) 研修会場

ア 講義 四日市市なやプラザ

イ 実習 四日市市なやプラザ

### (8) 使用した教材・リソース

みんなの日本語初級ⅠⅡ、にほんご45じかん、日本語の教え方スーパーキット  
初級を教えるための日本語文法ハンドブック、日本語でボランティア

## (9) 講座内容

日 時	講座名／学習内容	講 師	受講者数
【第1回】 9月12日(土) 13:00~17:00	(午後) オリエンテーション・参加者自己紹介 四日市市の国際化と外国人の状況 ボランティアに求められるもの ・個人指導・グループ指導 ・日本語のレベルとニーズの違い ・コミュニケーションのとり方 など	市民社会研究所 四日市市文化国際課 主幹 浅野幹夫 講座補助者(3名)	26名
【第2回】 10月18日(日) 9:00~17:00	(午前) 外国人が学ぶ(に教える)日本語の基本的な体系 ～文字、聴く、話す、読む、書く～ (午後) 教材の選び方(目的別) 外国人に日本語を教えるためのわかりやすい日本語(シンプルな伝え方)	四日市大学 特任教授 西牧義江 講師 佐藤信行  日本語教師 和田明子 井高節子	23名
【第3回】 11月14日(土) 9:00~17:00	(午前) 日本語の教え方の基本① (午後) 日本語の教え方の基本②	日本語教師 和田明子 谷垣映子 曾根由香里 渡辺富紀子	25名
【第4回】 12月12日(土) 9:00~17:00	(午前) 日本語の教え方の基本③ (午後) 生活のための日本文化と日本語支援 地域、学校、役所、就職、職場等の場面で必要な日本文化と日本語を、わかりやすい日本語で教える	日本語教師 和田明子 谷垣映子 曾根由香里 渡辺富紀子	20名
【第5回】 1月23日(土) 9:00~17:00	(午前) 模擬授業のやり方について (午後) 日本語指導実践(1) ふりかえり(課題の整理) 日本語指導実践(2) ふりかえり+講評	四日市大学 特任教授 西牧義江 講師 佐藤信行 講座補助者(3名)	22名
【第6回】 2月14日(日) 9:00~17:00	(午前) 前回の実践の反省を踏まえた講義 (午後) 日本語指導実践(3) ふりかえり(課題の整理) 日本語指導実践(4) 講評・今後の目標設定  「実践的日本語ボランティア養成講座」修了に当たって	四日市大学 特任教授 西牧義江 講師 佐藤信行 講座補助者(10名)  NPO法人市民社会研究所 代表 松井真理子	21名

## (10) 講座の評価

### ① 受講生に対するアンケート（抄）

#### 【全体を通して】

- ・ 講座はユーモアもあふれ、とても楽しく勉強できた。ボランティア活動を続けるうえで活力をもらった気がします。
- ・ グループワークは実際教える立場に立ってみて、教えることの難しさも感じる事ができ、とても勉強になった。
- ・ 外国人（国別など）の考え方の特性などが聞けて興味深かった。

#### 【講師・資料等について】

- ・ テキスト・教材の説明も詳しく、資料も豊富でよかった。
- ・ 講師の指導法には、目からうろこの部分もあり驚きながらもとても勉強になった。
- ・ 先輩ボランティアの話がとても興味が持てた。本音で話してもらえたと思うので、今後のボランティア活動に役立ちそう。

#### 【行政等の取り組みについて】

- ・ 四日市に在住する外国人数および彼らに対する行政等のサポートについて全く知らなかったため、とても参考になった。
- ・ 四日市の外国人の現状が大体わかった。

### ② 実施主体からの研修内容結果評価

講座を企画するにあたって、地域の外国人の日本語ニーズを把握した上で取り組んだことによって、地域における日本語指導の現状に対応した、効果的な講座を組むことができた。また、国際交流センター等で活動中の先輩ボランティアと外国人とを招き、日本語指導の課題解決に向けた体験授業を行ったことで、日本語ボランティアとしての自信を与えることができた。また、日本語ボランティアとして活動するための体系的な学習の枠組みを確立することができたことから、今後の継続的な取り組みへの可能性が広がった。

### ③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・外国人集住地域の外国人の子どもに対し、日本の文化や生活習慣を含めた日本語指導と、宿題の手伝いの2つを兼ねた、アフタースクールへの支援
- ・団塊の世代を始めとする退職者等を対象とする日本語ボランティアの開拓と既存のボランティアのスキルアップ事業の実施
- ・外国人の地域リーダーづくりに向けた四日市市との協働

## (11) 事業の成果

### ① 他事業との連携

#### 【人財ポケットよっかいち】

四日市市の地域再生計画に位置づけられた社会貢献人材バンク「人財ポケットよっかいち」と連携することによって、地域で増加する外国人のための日本語教育の意欲と能力をもつ人材の掘り起こしや、養成した人材の効果的な派遣システムと連動。

#### 【四日市市・四日市国際交流センターが行う諸事業との連携】

四日市市や市教育委員会が実施している、外国人対策事業と連携

## ② 研修後の人材活用

- ・ 四日市市内のさまざまな日本語サークルに登録し、在住外国人の日本語教育の場に参加していただく。
- ・ 「人財ポケットよっかいち」に登録していただき、地域・企業・学校等から寄せられる外国人に関するニーズに対応していただく。
- ・ 行政と連携し、新たな地域の日本語ボランティアニーズに対応していく。

## (12) 今後の課題

- ① 日本語ボランティアとして自信が持てるように、文法を中心にした基礎的なスキルを身につけるための学習プログラムを完成させる。
- ② マンツーマン指導とグループ指導の違いを整理する。
- ③ 初歩の学習者に対し、経験の少ないボランティアが母国語を使わず、日本語だけで指導するのはかなり難しい。その場合の使用教材やカリキュラム等の指導プログラムを作成する。